

## 北東アジア平和のためのアジア民衆の連帯強化を！

同志の皆さん、AWC 日本連の年次総会をお祝いします。常に闘争しておられる日本連の同志のご苦勞に激励のメッセージを送ります。

韓国は去る4ヶ月の間、回数にして20回、のべ人数1600万人を超える市民ロウソク抗争を通じて国憲紊亂の主犯である朴槿恵を引きずり下ろしました。朴槿恵は今、検察で調査を受けています。私たちは朴槿恵の即時の拘束を要求しています。政界は5月9日大統領選挙を控えて慌ただしく動いています。政権交替を目前にしているけれど、労働者民衆の生活は全く変わっていません。

去る2015年12月、朴槿恵と安倍は日本軍慰安婦問題を反歴史的・反民衆的な野合によって処理しました。こんなものは根本的に無効です。また韓国政府は2016年11月22日に、大統領でも国務総理でもない企画財政副長官が主宰する閣僚会議で議決、11月23日に韓日両国の国防関係者がソウルで「韓日軍事情報保護協定(GSOMIA)」に署名しました。国民から審判を受けた政権の軍事外交行為もまた根本的に無効です。

いま韓国では、星州に配備される米軍サード問題をめぐって闘争が展開されています。朴槿恵とその手下たちは、サードが北朝鮮の核とミサイルの攻撃から韓国を防御するものだと主張しました。しかしサードは、決定的にソウルをはじめとする首都圏を防御できないということが初めから確認されていました。アメリカの対中国包囲戦略であり、MD体制の前段階で朝鮮半島有事の際に駐韓米軍を保護するための武器体系に過ぎないということが暴露されました。

にもかかわらずアメリカは、朴槿恵政権の手下である国務総理、国防部長官、大統領府安保首席を脅迫して政権交替の前にサード配備を急いでいます。ロッテゴルフ場にサードを配備することを条件にして、罪を犯したロッテグループのシン・ドンビン会長を拘束しないことにしたことが明らかになっています。ロッテが政府に自分たちが運営しているゴルフ場へのサード配備を許容するやいなや、中国は中国人の韓国観光を全面禁止にし、中国内でのロッテの売り場などに対する全面的な圧迫を加えています。

サード配備をめぐるアメリカと中国との軍事的緊張関係が朝鮮半島において激化しているのです。韓国では強力な韓米軍事演習が実施中であり、北朝鮮はミサイル発射実験を続けています。中国は米国務長官の訪中期間に大陸間弾道ミサイル(ICBM)訓練を電撃的に公開しました。朝鮮半島と北東アジアの軍事的緊張が高まっています。米国のティラーソン国務長官は「日本はアメリカの最も重要な同盟国で、韓国は重要なパートナー」だと語りました。米日帝国主義の朝鮮半島に対する認識を明らかにしたものです。

去る3月18日、慶尚北道の星州郡草田面のソソン里には、全国から集まった5千人余りが「3・18ソソン里 汎国民平和行動大会」を開いてサード配備予定地域であるロッテゴルフ場までデモ行進しました。参加者は、「住民同意・環境影響評価・法的根拠なしで推進されるサード配備は根本的に無効」、「北東アジアに新冷戦を呼び込み、朝鮮半島の平和を脅かすもの」、「サードは去れ、平和よ来い！」というスローガンを叫びました。

日本でも米軍基地の拡張と日米軍事演習に対抗して闘争を展開するために多くの苦勞をな

さっていると思います。安倍政権は、日本を帝国主義侵略国家へと転換させるために、日米軍事同盟をより一層強化しています。さらには韓国を下位パートナーとして配置する韓米日の三角軍事同盟体制を強化しようとたくらんでいます。北東アジアの新冷戦体制が固定化される危険が徐々に大きくなっています。

一方で世界資本主義の経済危機と資本の搾取収奪による労働者民衆の生活は日々苦しくなっています。非正規職が増加して雇用不安が増大し、実質賃金が下がって生活の質が疲弊しています。社会福祉の後退と老後の不安がより深刻になっています。社会的に貧富格差と貧困化が拡大しています。韓国では、最低賃金、アルバイト労働と失業者、家計の負債、住居問題などが深刻です。私が代表をつとめている「平等労働者会」（「左派労働者会」から名称変更）は、「私たちはなぜ一生懸命働いても貧しいのですか?」というテーマで韓国と日本が共同して実態調査を進めようと計画しております。多くの関心と協力を寄せてくださるようお願いいたします。

このような時期に開かれる AWC 日本連総会は、大変重要な課題を抱えていると考えます。新自由主義と帝国主義の支配と抑圧に苦しめられている日本をはじめとするアジア労働者民衆の現実を直視して連帯と闘争を組織すると確信しています。良い成果を収められるよう願っています。ありがとうございます。

2017年3月25日  
AWC 韓国委員会代表 許榮九